



原の辻遺跡(吉岐市)



浅茅湾(対馬市)



大瀬崎灯台(五島市)



矢堅目(新上五島町)



NAGASAKI PREFECTURE

長崎県



長崎県

長崎県には、昨年登録された県内二つ目の世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」、そして日本遺産第一号の「国境の島 吉岐・対馬・五島」古代からの架け橋」などの県民の大切な「宝」があります。積み重ねられた歴史の物語は、国内外から訪れる人々を魅了してやみません。

現在、長崎県では、海外との交流とともに発展してきた歴史的

背景などを活用し、I R(特定複合観光施設)の導入を目指しています。また、2022年度には九州新幹線西九州ルートの暫定開業も予定されており、交流人口の拡大が期待されます。新たな人の流れを創出することで、九州地域全体の発展に貢献できるよう未来に向けた取り組みを進めています。

寄稿…長崎県



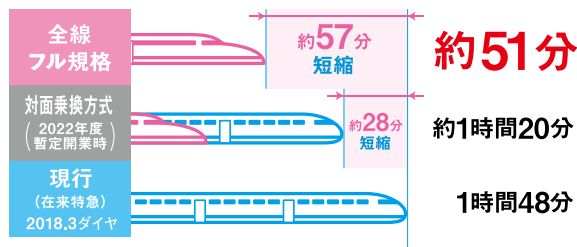
大浦天主堂(長崎市)

九州新幹線 西九州ルート 実現させよう！ 全線フル規格！

九州新幹線西九州ルートは、2022年度に長崎～武雄温泉間の暫定開業が予定されており、長崎県では、将来の九州地域全体の発展のために全線フル規格による整備の早期実現を目指しています。



《長崎～博多の所要時間（最速）》 国土交通省試算



■新鳥栖～博多 約26km フル規格

■武雄温泉～新鳥栖 約51km 整備方針未確定

長崎県は、フル規格による整備を要望しています。

■長崎～武雄温泉 約66km フル規格

2022年度暫定開業

●2022年度に暫定開業します 〔開業区間：長崎～武雄温泉〕

暫定開業時点では、新幹線（長崎～武雄温泉）と在来線特急（武雄温泉～博多）のりレー運行により、長崎～博多間の最速所要時間は約1時間20分となり、現行最速（1時間48分）より約28分短縮されます。

●全線フル規格の 早期実現を目指しています

全線フル規格整備により山陽新幹線への直通運行を実現することで、リニア中央新幹線（東京・名古屋・大阪都市圏を約1時間で結ぶ高速鉄道）の完成によって誕生する世界最大の巨大都市圏の旺盛な経済成長力を取り込み、さらにはゴールデンルートに集中する訪日外国人を積極的に呼び込むことで、九州の一体的な浮揚と地方創生の実現につなげることができます。

■全線フル規格の整備効果

- 1 時間短縮効果**
 - 長崎～博多間は最速約51分
 - 山陽新幹線直通運行により、関西方面まで乗換なしで結ばれ、長崎～新大阪間の所要時間は最速約3時間15分
- 2 安全・快適な移動**
 - 高架の専用軌道を走行するため、在来線と比較して事故や自然災害による遅延や運休が少ない

3 交流人口の拡大による経済効果

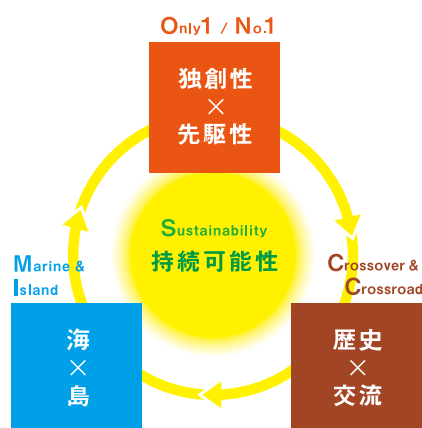
- 山陽新幹線への直通運行により、観光客、ビジネス客の増加が見込まれ、宿泊やお土産の購入をはじめとした観光消費の増加などが期待される



対面乗換方式の場合
武雄温泉～博多間は在来線を運行します。



※イラストはイメージです



交流とともに発展してきた「歴史」を背景に、「海や島」など、美しい自然を活用した「独創性と先駆性」に満ちたIRを実現し、未来に向かって、「持続可能性」に満ちた美しく、楽しい、活力ある地域社会日本の実現を目指します。

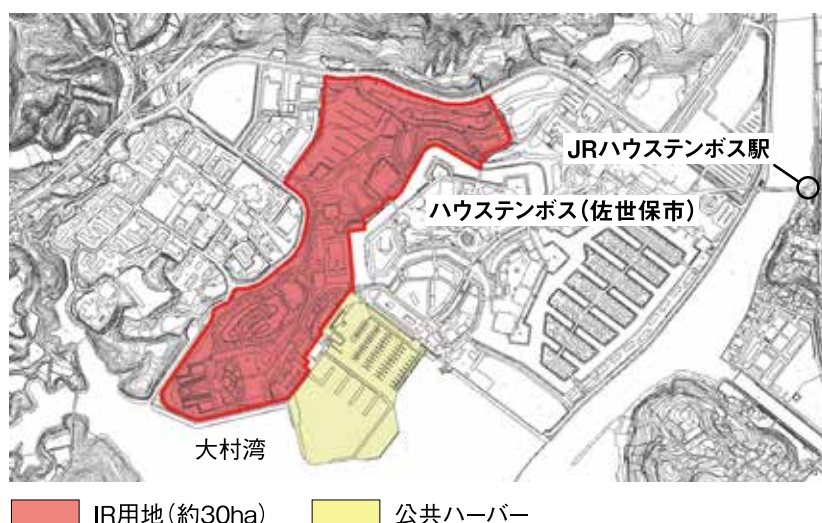
長崎県が目指す九州の「ユニーク・マリンIR」

長崎県では、魅力発信や交流人口拡大、新たな雇用創出等を目指し、県内へのIR導入に向けた準備を進めています。

※IR（特定複合観光施設）
国際会議場や展示場、エンターテインメント施設、ホテル、カジノなどが一体となった観光施設。国内で3カ所を上限に国が認定します。

九州・長崎IR、発進

九州・長崎IRの候補地(予定)



※基本合意時現在の図です。今後の調整により変更が生じる可能性があります。

- 平成31年4月8日に、長崎県と佐世保市、ハウステンボス株式会社(所在地:長崎県佐世保市 以下HTB)の三者は、HTBが運営するテーマパーク「ハウステンボス」の土地と建物の一部(約30ha)を、IRの整備候補地とすることに関して基本合意に達しました。
- 風光明媚な大村湾に面する一団の土地をIR区域とすることで、長崎県・佐世保市が掲げる、地域特性を活かした「ユニーク・マリンIR」の実現を目指します。



CO-DEJIMA

スタートアップ交流拠点

「CO-DEJIMA」が3月26日、オープンしました！

「CO-DEJIMA」には、所在地である「出島＝DEJIMA」からさまざまな「CO（共に）」を生み出したいという思いが込められています

「CO-DEJIMA」は、成長が見込まれる
※スタートアップ企業や今後スタートアップ企業
の立ち上げ等を目指す方、企業、大学、
金融機関などさまざまな人材が交流し、ア
イデアや技術を高め合うことで、新たな
サービスを形にするための拠点です。室内に
は、セミナーやワークショップを開催できるエ
リア、ミーティングスペースやカフェ、図書等の
コーナー、有料の固定ブース（5席）などがあ
ります。

今後、県内外の先駆的なスタートアップ企
業によるセミナーや交流会等のイベントを開
催していきます。詳しくは「CO-DEJIMA」
のホームページをご覧ください。

※スタートアップ企業
新たなビジネスモデルにより成長を目指す企業の
こと



問 合 せ / CO-DEJIMA事務局（（公財）長崎県産業振興財団内） ☎095-800-1390

開 館 時 間 / 火曜～土曜日12時～20時（日曜、祝日、月曜、年末・年始を除く）

※固定ブース利用者は24時間出入室可能（閉館日含む）

所 在 地 / 長崎市出島町2-11（出島交流会館2F）

CO-DEJIMA

検索



親和銀行から

親和銀行とふくおかフィナンシャルグループは、2016年1月、長崎県と「地方創生に関する包括連携協定」を締結しました。地方創生への取り組みとして、これまで連携協力して行った活動のなかで直近のイベントをご紹介します。

1.「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」 世界文化遺産登録記念イベントinふくぎん 本店広場

2019年2月14日・15日の2日間、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録を記念して、長崎県の後援により、長崎県内の7つの自治体が福岡銀行の本店広場にブースを設け、地域の特産品を販売するとともに、観光等のPRを行いました。親和銀行の行員も沿道の皆さまに声をかけを行う等、イベント運営のお手伝いをしました。



上. 観光PRを始め産直品コーナーは多くの人で賑わいました／下. 世界文化遺産登録のPR・物産イベントの呼び込み風景



長崎県知事メッセージ

長年にわたり、造船・プラント産業が基幹産業として本県経済を支えています。昨今、造船関連については、韓国・中国との競争激化により、また、プラント関連については、環境意識の高まりなどによるエネルギー

に対する考え方の変化から受注環境が厳しい状況となっています。このように時代とともに社会が変化する中、本県の有する技術や強みを生かしながら、造船・プラント産業に次ぐ、新産業の創出・育成が必要であります。

そこで、造船・プラント産業で培われた技術や人材を生かし、洋上風力発電など海洋再生エネルギーを中心とした「海洋関連産業」の育成・集積に取り組むとともに、今後世界的な需要の高まりが見込まれる「航空機関連産業」の創出・育成にも力を注いでまいります。

さらに、ロボットやIoT、AI等の技術の活用で今後様々な産業におけるイノベーションの可能性を持つ「ロボット・IoT関連産業」の創出・育成にも取り組んでまいります。

10年後の目標として、これら3分野合計の売上高は、現在の507億円から3.8倍の1,920億円、雇用者数を現在の3,809人から2.7倍の10,474人へと成長することを目指しています。

今後、それぞれの産業分野において、産学官で連携した高度専門人材の育成、技術の高度化と企業間連携の強化によるサプライチェーンの構築、さらには、その中核となる企業の誘致・育成に取り組み、産業としての持続的な発展を導いていきたいと考えています。



長崎県知事
中村 法道

2.「第4回水産関連事業者向け個別相談会」

2019年3月8日、水産関連事業者の方が現場で抱える様々な課題の解決を図ることを目的として、長崎県と連携し、長崎県庁にて「第4回水産関連事業者向け個別相談会」を開催しました。当日は長崎県内の事業者様10社と大学教授等11名様に、ご参加いただきました。また、長崎県水産部の谷内技師には参加者の方々の補助金の相談等に応じていただきました。

今後も長崎県との連携を強化し、地方創生に全力で取り組んでまいります。



上、長崎県水産部の谷内 大翔技師を中心とした相談会の様子／下、参加事業者を前に挨拶をする親和銀行 石丸常務執行役員